

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
生きて働く知 【授業改善】	①「わかる・たのしい授業」を通して基礎・基本を身につけるために、学年教科分担制(3年～6年)で行う中で教材研究をしっかりと行い、少人数指導や学習ルームの個別指導等を充実させる。 ②生活・総合の学習を中心に、子どもの願いを大切に、主体的に学び続ける児童を育成する。
担当	学力向上・評価部会

学力向上に関わる本校の状況	今年度の目標
<p>○令和3年度横浜市学力学習状況調査結果の分析</p> <p>結果を見ると、学習への意欲は比較的高い児童が多い。しかし、学力に関しては低学年では市の平均とほぼ同じくらいとなっているが、高学年になるにつれて難しく感じている児童が多い様子がわかる。また、個人差も大きくなっていることが考えられる。学びは積み重なっていくものであり、前の学年の既習事項をしっかりと抑えた上での指導が大切になる。また、学年が上がるにつれて、学習内容もより複雑に、難しくなってくるため、個人差も広がる。より、一人一人への適切な支援も必要となる。また、家庭学習や生活習慣の見直しなど、家庭との連携も大切であると考え。</p>	<p>・基礎基本の定着のために、教師時自身の指導力を向上させ、少人数指導やICT等を活用したよりわかる楽しい授業を目指す。</p>
目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	<p>○各学年での教材研究を密に行うことで、毎時間のめあてをはっきりさせて、子どもたちがその時間で身につける力を具体的にする。</p> <p>○一人一人の学力や必要な支援を把握し、少人数指導や個別指導、ICTなどを有意義に活用する。</p>
下半期	<p>○重点研究会等で教師自身の指導力の向上を目指し、より子どもの願いを大切にした生活、総合の学習を通して子どもたちが主体的に学ぶ姿を目指す。</p>